

学校における業務改革プラン（業務量管理・健康確保措置実施計画） 概要

●概要

- ・社会の劇的な変動により学校を取り巻く環境が複雑化・多様化
- ・こどもが予測困難な社会を生きていくことができるよう、学校教育の改善・充実の必要性
- ・対応すべき様々な課題の発生により、教職員に求められる業務の質が変化し、量も増大
- ・教職員の心身の負担、教育活動の質の低下や教職そのものへの魅力の低下が懸念

- ・学校における業務改革を加速度的に進めていく必要性
- ・業務の削減・精選等を図り、授業やその準備等の時間を確保出来る環境の整備
- ・教職員のウェルビーイングの追求（教職員の心身の健康の保持増進）

- ・働きやすさと働きがいの両立
- ・より質の高い教育を実現

●本県の状況

- ・時間外在校等時間は、全体としては減少傾向（高校では3割以上の教員が月45時間超）
- ・部活動指導や校務分掌業務が高い割合
- ・精神疾患による特別休暇等が全ての校種で増加（特支では継続的に高い傾向）

●目標指標

令和10年度に目指す姿

区 分	職員の働きがい		時間外削減		健康確保措置	
目標指標	自身の仕事に働きがいを感じている教員の割合	児童生徒と向き合える「授業」の時間は楽しいと感じている教員の割合	時間外在校等時間が月当たり45時間を超える教員の割合	1年間における教員の時間外在校等時間の1箇月平均時間	精神疾患による30日以上の特 別休暇及び休職者の在職者比率	年次有給休暇の年間平均取得日数
目標値(R10)	100%	100%	0%	30時間以下	1.1%以下	16日

●対象期間

- ・令和8年度から令和10年度までの3年間

●これまでの策定

- ・平成31年2月初版策定（令和4年3月改定）

●進捗管理

- ・「学校対象調査」や各所管課の調査で進捗状況等を把握し、評価実施
- ・評価結果は、次年度の施策や予算等へ反映できるようHPで公表
- ・進捗状況と評価を総合教育会議に報告

●各取組と活動指標

目標を達成するため、取組を5つに分類
進捗管理のため、各分類毎に活動指標を設定

1 人的資源の配置・活用

ア 教職員定数等の改善
イ 支援スタッフの充実

活動指標

教職員人材バンクの登録者数 2,000人

2 業務量の削減

ア 学校行事・業務の精選等
イ 調査等の見直しと教員研修の活用

活動指標

学校行事、職員会議、校内研修等の精選・見直しに取り組んだ学校の割合 100%

クラウドを活用した県教育委員会等が行う調査の割合 30%

3 業務の効率化

ア 総務事務集中化・事務職員の校務運営参画
イ 校務DX（ICTの活用）
ウ 業務効率化の好事例の横展開

活動指標

校務分掌、部活動等の統廃合による校務の整理に取り組んだ学校の割合 100%

ICTを有効活用した授業改善や校務の効率化に取り組んだ学校の割合 100%

4 地域・家庭、関係機関等との連携・協働

ア コミュニティ・スクールの導入・強化等
イ 効率的な部活動の推進
ウ 関係機関との連携

活動指標

コミュニティスクールの機能を発揮・強化している学校の割合 100%

静岡県部活動ガイドラインを踏まえた学校の活動方針に沿った運動部活動の実施率 100%

中学校における休日の部活動の地域展開等に着手した市町数 33市町

5 健康及び福祉の確保に関する措置

ア 時間外在校等時間の長時間化の是正
イ 健康管理の実施
ウ 柔軟な働き方の環境整備

活動指標

完全退庁時刻を20時以前に設定する県立学校の割合（定時制を除く） 100%

ストレスチェック受検率 100%